

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 13 日(2022.6.13)

【公開番号】特開 2020-6172(P2020-6172A)

【公開日】令和 2 年 1 月 16 日(2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2019-124079(P2019-124079)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/14

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対物レンズを介して被検眼の眼底へスリット状の照明光を照射する照射光学系、前記照射光学系と前記対物レンズを共用し、更に、前記照明光の眼底反射光に基づく眼底の像が形成される撮像面を有する受光光学系、および、走査部、を含む撮影光学系と、
前記撮影光学系は、前記スリット状の照明光を形成するため、または、眼底上に局所的な撮影領域を形成するため、の絞りを更に備えており、

前記対物レンズおよび前記視度補正光学系の両方に関する眼底共役位置とは異なる位置に前記絞りが配置された状態で眼底画像を撮影する、眼底撮影装置。

【請求項 2】

30

前記視度補正光学系は、前記照射光学系における視度補正量である照射側補正量と前記受光光学系における視度補正量である受光側補正量と、をそれぞれ独立に調整可能であり、前記制御手段は、前記眼底画像を撮影する際に、前記視度補正光学系を制御し、前記照射側補正量と前記受光側補正量とを互いに異なる値に設定する、請求項 1 記載の眼底撮影装置。

【請求項 3】

対物レンズを介して被検眼の眼底へ照明光を照射する照射光学系と、
前記対物レンズを前記照射光学系と共用し、更に、前記照明光の眼底反射光を受光する受光素子を有する受光光学系と、を有し、

40

前記受光素子からの信号に基づいて眼底画像を取得する眼底撮影装置であって、
前記照射光学系における視度補正量である照射側補正量と前記受光光学系における視度補正量である受光側補正量と、をそれぞれ独立に調整する視度補正光学系と、
前記視度補正光学系を制御し、前記照射側補正量と前記受光側補正量とを互いに異なる値に設定する制御手段と、を備える眼底撮影装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、被検眼の瞳孔の大きさを考慮して、前記視度補正光学系を制御する、請求項 2 又は 3 記載の眼底撮影装置。